

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.16

令和4年10月19日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>



凡事徹底！まずは自分の足元、そして靴箱から

小学生のころ、父の革靴を磨いてお小遣いをもらったり、「きれいになったよ、ありがとう」と褒めてもらったりするのが嬉しかった記憶があります。今でも靴が汚れていると気分がよくありません。

通勤時も他人の足元に自然と目が行ってしまいます。きれいに磨かれている人がいれば、「目立たないところまできちんとしている人だな」と考えます。逆に、スーツはきちんとしていても、靴が汚れていたり擦れていたりすると残念に思えてしまいます。ビジネスシーンでは、相手と向き合い相手を知りたいときには「その人の靴を見なさい」と言われることもあるそうです。

さて、慣用句に「足元(足下・足許)を見る」という言葉があります。「他者の弱い部分を見つけては、その弱みに付け込むこと」と辞書にはあります。語源を調べてみると、昔の街道や宿泊場で、馬方や駕籠(かご)かきといった職業の人たちが、歩き疲れた旅人の足(履物)の具合を見て、高額な駕籠代を要求していたことから発しているようです。「疲れているのだから、このくらい金額を提示しても断れないだろう」と弱み(疲れ)に付け込んで「駕籠に乗ったほうが楽ですよ」と接客していたわけです。

学校では、靴を履き替えたり上履きを脱いで裸足になったりする機会がとても多くあります。ふと昇降口の靴箱に目をやったとき、あるいは図書室に入るために廊下に置かれた上履きを見たとき、きちんと靴のかかどが揃っていると気持ちがよくなります。逆に、踵が踏まれていたりあらぬ方向を向いていたりすると残念な感じがします。凡事徹底！当たり前のことをバカにせず一生懸命行える、細部まで気を配れる、そういう子供たちに育ててほしいと願います。まずは「そろった靴箱」を合言葉に、全校で取り組んでほしいと思います。そう言う私の上履きは少し薄汚れてきました。足元を見られないようにしなくては…?!



第73回市民体育大会 陸上競技

小学女子の部 100m 第1位

6年 Y. Sさん

小学男子の部 100m 第3位

5年 K. Yさん

【まなびクラブ】

3年：1日、8日、15日

4年：11日、18日

【授業参観(2,3校時)】

追って詳細をお知らせします

1	火	校外学習(千葉市動物公園)②	18	金	ホワイスクール説明会(放課後)⑤
2	水	委員会活動、スクールカウンセラー相談日	22	火	芸術鑑賞教室(3部制)
4	金	人権教室④、すこやか検診⑤、オンライン授業⑥	24	木	授業参観③～⑥ ※丸数字は学年です
7	月	修学旅行⑥(一泊)、読書週間(～10/25)	25	金	授業参観①②㊦
14	月	県・市教委合同訪問 下校 13:30	29	火	校外学習(市内めぐり)③
16	水	クラブ活動、スクールカウンセラー相談日	30	水	定例研 下校 12:45
17	木	市川市こども作品展・新聞展(～10/20)	12/1	木	星野道夫記念切手贈呈式

裏面には、No.13に引き続き大事なお知らせを掲載しました。ぜひご確認ください。



新しく開級される特別支援学級・・・どんな違いがあるの??

- ☆特別支援学級（知的障がい）
- ☆特別支援学級（自閉症・情緒障がい）
- ☆通級指導教室（自閉症・情緒障がい、LD/ADHD、ことば、きこえ）

令和4年10月
市川市教育委員会 指導課

ここでは、
それぞれの学級・教室の
違いについて、ご紹介します。



令和5(2023)年度4月から、平田小学校に特別支援学級（自閉症・情緒障がい）が開級予定です。

平田小学校には、すでに特別支援学級（知的障がい）のたんぼぼ学級と通級指導教室（自閉症・情緒障がい）があります。

ここでは、それぞれの学級・教室の違いについて、簡単にご紹介いたします。

対象児童と教育課程（学習内容）が異なります。

令和5年度から開級予定

特別支援（知的障がい）学級 たんぼぼ学級	通級指導教室 （自閉症・情緒障がい/LD・ADHD/ことば・きこえ）	特別支援（自閉症・情緒障がい）学級
<p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的発達の遅れがあり、他人との意思疎通に軽度の困難があり、日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難である程度の者。 <p>指導形態・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学級8名を上限とした少人数学級で学ぶ。（複式学級） ・学習内容は、小学校の教育課程を基本とするが、個々の発達段階や知的理解の状態などに応じて、下学年の内容や、知的障がい特別支援学校の内容を一部取り入れるなど、特別な教育課程を編成して指導する。 	<p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね通常の学級での学習に参加でき、それぞれの障がいの状態により、一部特別な指導を必要とする程度の者。 <p>指導形態・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級で学びながら、週1～2時間程度通級指導教室に行き、学習する。 ・1対1の個別指導を基本とするが、児童の実態によってグループ学習を行う場合もある。 ・学習内容は、障がいの特性に応じた自立活動[※]を実施し、障がいによる学習上、生活上の困難を改善克服することを目的とする。 	<p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自閉症またはそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度の者。 ・主として心理的な要因による選択性かん黙等があるもので、社会生活への適応が困難である程度の者。 <p>指導形態・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学級8名を上限とした少人数学級で学ぶ。（複式学級） ・通常の学級の教育課程を基本とし、学年相応の教科等の学習を行いながら、障がいによる学習上、生活上の困難を克服するための自立活動[※]の時間を設けるなど、特別な教育課程を編成する。

※「自立活動」では、障がいによる学習上又は生活上の困難を改善・克服するために心理的な安定や人間関係の形成、身体の動き、コミュニケーション等6区分27項目の目標・内容を基に、個々の児童の課題に応じて指導を行います。

◇特別支援学級(自閉症・情緒障がい)に入級・転籍する場合は手続きが必要となります。2か月程度かかりますので、まずは教頭 or 高橋^みに早めにご相談下さい。

☎この件につきまして、お問合せは、指導課(047-383-9338)までお願いします。